

三重津海軍所に



関わった人のひみつ

三重津海軍所跡ってなに？

三重津海軍所跡は、江戸時代の終わり頃につくられた佐賀藩の洋式海軍の拠点です。洋式海軍の教育や洋式船の修理・建造などを行っていました。日本初の実用蒸気船「凌風丸」もここでつくられました。

三重津海軍所跡は2013年に国の史跡に指定されました。また、2015年には「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつとして世界遺産に登録されました。

三重津海軍所に関わった人たちを紹介するよ！

鍋島直正



鍋島直正銅像
(佐賀県観光連盟提供)

- 佐賀藩の10代目の藩主(おとのさま)
- 西洋の科学技術をすすんで取り入れた。
- ・築地反射炉や多布施反射炉をつくり、鉄製の大型の大砲をつくらせた。
- ・精煉方をつくり、蒸気機関や火薬などの研究をさせた。
- 三重津海軍所を立ち上げた。**
- 佐賀の七賢人のひとり。



築地反射炉跡ミニユメント
(佐賀市立日新小学校内)



三重津海軍所跡 航空写真

佐野常民



佐野常民肖像
(日本赤十字社蔵)

- 「博愛社」(のちの「日本赤十字社」)をつくった人。
- 精煉方で、リーダーとして活躍した。
- 長崎海軍伝習所で洋式海軍について勉強した。
- 日本初の実用蒸気船「凌風丸」の建造に関わった。**
- 佐賀の七賢人のひとり。

日本初の実用蒸気船「凌風丸」とは!?

1865年に完成した日本初の実用蒸気船。

有明海周辺の浅い海で使われていたよ!

諫早や伊万里に行った記録や絵図が

残っているんだ。



凌風丸絵図(東京大学駒場図書館所蔵)



凌風丸くん

三重津海軍所に関わった人のひみつにせまる問題に挑戦!!

ちょうせん

次の人物はだれでしょう。

ヒント



田 久



(久留米市教育委員会所蔵)

- 久留米くろめで生まれた。
- 手先が器用で、からくり人形(文字書き人形など)を作ったことから「**からくり儀右衛門**」と呼ばれた。
- 佐賀藩の精煉方せいれんかたで蒸気車・蒸気船の模型をつくった。
- 日本初の实用蒸気船「凌風丸」**の建造に関わった。



精煉方跡記念碑



Point!

三重津海軍所と関わりが深い精煉方、そこで活躍した人たち!

精煉方では、蒸気車や蒸気船など蒸気せいの力で動く機械や、火薬などの研究が行われ、久留米たなかひさしげ たなかぎ えもんの田中久重・田中儀右衛門(父子)、京都いしぐるかんじ なかむらきすけの石黒寛次や中村奇輔など、他の藩の人たちがそれぞれの得意分野で活躍しました。

くわしく

- 石黒寛次は外国の本を日本語にほん訳ほんやくしていた。
 - 中村奇輔は蒸気機関や火薬についての実験を行った。
 - 「からくり儀右衛門」と呼ばれた田中久重や、田中儀右衛門は、蒸気車や蒸気船の模型をつくった。
- 精煉方での研究のおかげで、三重津海軍所で日本初の实用蒸気船「凌風丸」が完成!

◎確認しよう! ~三重津海軍所に関わった人~

Q1) 佐賀藩の第10代目の藩主はんしゅ(おとのさま)はだれ?

鍋 直

Q2) 佐野常民は、日本初の实用蒸気船「凌風丸」の建造に関わった。

○か?×か?▶

Q3) 佐賀藩は、他の藩の人を一人も受け入れなかった。

○か?×か?▶

Q4) 田中久重は、手先が器用で、文字書き人形などをつくったことから何と呼ばれた?

儀 右 衛 門

Q5) 三重津海軍所で作られた日本初の实用蒸気船の名前は「みえつ丸」である。

○か?×か?▶